



春の観察会 (4月29日)

近江オオムラサキを守る会が「春を食べよう」をテーマに春の観察会を行い、市内外の親子連れなど88人が参加しました。

参加者は、かぶと山のふもとなど多和田の地域内を散策しながら、春の花や身近に自生する植物を観察。近江オオムラサキを守る会の代表樋口善一郎さんの案内で、植物の名前やその特徴などを、クイズを交えながら学びました。

その後、参加者は多和田会館に戻り、ボランティアとして参加された民生委員らが調理した、ヨモギやヒメオドリコソウ、セイタカアワダチソウ、トキなど野草の天ぷらでお昼ご飯。普段食べることの少ない野草の味を楽しみました。



安全安心なまちづくり協定 (5月14日)

市は米原市新聞組合、米原警察署と「安全安心なまちづくり協定」を結びました。これは、市民の安全安心なまちづくりを推進するため、平成25年1月に米原市新聞組合と締結した協定に米原警察署が加わり、更なる充実を図るものです。

協定では、新聞配達中などに地域住民の異変や不審者を発見したときは市や警察署に連絡すること、緊急の連絡を新聞折り込みで市民にお知らせすること、災害時に避難所が開設されたときは新聞を無料配布することなどが追加されました。

米原庁舎で行われた締結式で、新聞組合代表の鏑田一幸さんは「地元のために市や警察と連携して、見守り活動に取り組みたい」と話しました。



柏原中学校里山体験 (6月9日)

柏原中学校1年生19人が大野木の政所夢塾公園で、里山体験をしました。

ボランティア団体である「大野木ランドワーク協会」の人たちに教えてもらいながら、生徒らは3班に分かれて間伐や竹割りなどを体験。間伐体験では、ヒノキの幹を1人ずつ順番にのこぎりで切っていきます。生徒たちは力いっぱい、のこぎりを引いていました。その他、竹割り器を使って竹割りに挑戦したり、サルスベリの木に好きな言葉を書いた置物を作ったり、キーホルダーを作りました。

伊藤校長は、「この里山体験を通して、自分の住んでいる学区に愛着を持ってほしい。良さを知ってずっと住んでほしい」と話してくれました。

貴重な体験をすることができ、生徒たちはふるさとへの良さについて学んだようでした。



編集・発行/米原市役所 広報秘書課
〒521-0801 滋賀県米原市下き良三丁目3番地
☎0749(02)6627 / FAX0749(02)5195
Eメール koho@city.maibara.lg.jp
公社ホームページ http://www.city.maibara.lg.jp/